

# ● 将来につながるキャリアの紹介

家庭科の内容と関連した職業についている方々から仕事について学びます。いろいろな職業があることを知り、仕事についての興味を持たせることができます。

## ◎ スポーツを通して共に生きることをめざす

**障害者スポーツ**

さわやかな  
\*\*\*\*\*

日本障がい者サッカー連盟会長、  
元サッカー日本代表  
北澤 豪さん



パラリンピック競技の一つである、ブラインドサッカーの普及に努めています。僕はプロのサッカー選手をしていましたが、ブラインドサッカーに関わってみて、コミュニケーションの大切さをいっそう感じるようになりました。この競技はプレイヤーがアイマスクをつけるので、おたがい声を掛け合わなければ、どう動けばよいかわかりません。見えていない相手にわかりやすいよう指示を出すのは、難しいことなんです。でも、子どもたちは、障がい者も健常者も関係なく、すぐに打ち解けてゲームに夢中になるようです。ブラインドサッカーを体験した子どもたちは、アイマスクを外した後も、相手のことを気にかけてみたり、関わり方を考えてみたり、もの見方にも変化があるのではないかと思います。街に出たときに、点字ブロックやバリアフリー設備に気づくこともあるでしょう。スポーツを通して、「共に生きる」という考え方が社会になじんでいくことを願っています。

## ◎ 衣服で表現する

**衣装製作**  
にかかわる人  
\*\*\*\*\*  
デザイナー  
伊藤 聡美さん



フィギュアスケートでは、音楽を身体で美しく表現します。また、空中でジャンプする激しいスポーツでもあります。見た目のデザインはもちろんのこと、さまざまな動きに耐えられる機能性と耐久性を求められます。素材は必ず伸縮性のある生地を使います。縫製も普通のミシンではなく、伸縮性が保てる特殊なミシンと糸を使います。装飾は氷上に落ちたら減点になりますので、絶対に落ちないよう、糸やボンドでしっかりとめつけています。装飾をたくさんつけると、衣装が重くなってしまいジャンプが飛べなくなってしまいますので、選手と相談しながら調整を重ねます。見た目の華やかさと機能性、2つのバランスを意識して製作しています。

2018年、平昌オリンピックで活躍した羽生結弦選手と宇野昌磨選手の衣装は伊藤さんが手がけたものです。



羽生選手の衣装  
平安時代の衣装(狩衣)をイメージしています。素材からデザインまで、羽生選手の要望です。

宇野選手の衣装  
星空を想像させる青と金のデザインです。衣装で、音楽の世界をより強調させています。






美しい衣装は、激しい動きに適した布選びやぬい方が工夫されているんだね。



## ◎ 日本の伝統を受け継ぎながらお茶の生産に携わる

**お茶**

さわやかな  
\*\*\*\*\*

お茶職人  
藤井 美穂さん



## ◎ 学校給食に携わる

**学校給食**

さわやかな  
\*\*\*\*\*

栄養教諭  
横山 英史子さん




## ◎ 法律を使って困りごとを助ける

**契約の法律**

さわやかな  
\*\*\*\*\*

法律家  
小牧 美江さん

